# ① ふるさと教育の充実

継続 社会に学ぶ「14歳の挑戦」推進事業費

133万円

(前年度)

145万円

担当課 学校教育課 電話番号

74-8213

### 1. 本市の現状と課題

将来、社会的・職業的に自立し、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現する力を身に 付ける教育活動が求められています。

# 2. 平成30年度事業の内容

中学2年生に5日間、学校外で職場体験活動や福祉・ボランティア活動などに参加させることにより、規律 意識や職業観を育成し、夢や希望をもってたくましく生きる力を身に付けた子どもを育成します。

# 3. 目標値または実施により求める効果

社会に学ぶ「14歳の挑戦」事業アンケート調査結果で、「目標をもって取り組むことができた」と回答する 生徒の割合100%を目指します。

(単位・万田)

	県の負担	66
財源	市の負担	67
1021		

		(十四:7511)
経	委託料	132
費 内	消耗品費	1
訳		

継続 埋蔵文化財発掘調查事業費

(前年度)

438万円 380万円

担当課 博物館 電話番号

74-8231

# 1. 本市の現状と課題

市内には、約400か所の埋蔵文化財包蔵地(遺跡)があります。能越自動車道IC周辺の各種開発をはじめ、 ほ場整備や急傾斜崩壊対策工事、道路や建物の建設などが計画・実施されていく中で、適切な埋蔵文化財の 保護と活用をすすめていく必要があります。

#### 2. 平成30年度事業の内容

国県市の関係部局や開発業者と、埋蔵文化財の保護について協議した上で、必要に応じて市内の開発行為に 伴う試掘調査や本発掘調査を実施します。あわせて、市内遺跡の現況把握を行う分布調査事業の一環として、 森寺城跡の追加測量調査事業を実施します。

# 3. 目標値または実施により求める効果

発掘調査や分布調査の実施によって、地域の歴史を物語る遺跡の適切な保護と活用に努めます。

	国の負担	150
財	県の負担	75
1/41	市の負担	213

		(単位:万円)
経	委託料	223
費肉	委託料 使用料及び賃借料 その他	100
訳	その他	115



# ① ふるさと教育の充実

拡充 天然記念物イタセンパラ再生事業費

598万円

(前年度)

579万円

#### 担当課 教育総務課

電話番号

74-8211

### 1. 本市の現状と課題

国指定天然記念物イタセンパラの保護増殖および飼育個体群の野生復帰を目指し、万尾川や仏生寺川の生息 調査およびイタセンパラ保護池における飼育個体群の生活史および繁殖生態を研究しています。

今後は、市内小学校での飼育学習を行うなどし、子どもたちへのイタセンパラの普及啓発が課題です。

# 2. 平成30年度事業の内容

イタセンパラの保護増殖のため、保護池でのモニタリング調査や神代川での野生復帰調査を行います。 また、保護池・飼育場所へのイノシシ侵入防止対策を行います。

# 3. 目標値または実施により求める効果

イタセンパラ保護池でのイタセンパラ個体数(1,000個体以上)の系統保存を行います。

仏生寺川でのイタセンパラの生息確認を行います。

	国の負担	285
財源	県の負担	142
1/2AN	市の負担	171

		(年位.刀口)
経	委託料	344
費	工事請負費	92
訳	その他	162



イタセンパラ保護池(ドローン撮影)

継続「中学生ふるさと発見塾」開催事業費

(前年度)

19万円 24万円

担当課 教育総務課 電話番号

74-8211

# 1. 本市の現状と課題

市内に多く存在する史跡や天然記念物などを学習することは、郷土の歴史や自然を学ぶきっかけとなり、 ふるさと氷見を愛し、誇りを感じることにつながります。このため毎年全ての中学1年生を対象に「中学生 ふるさと発見塾」を開催し、バスに乗車して史跡などを巡っています。

#### 2. 平成30年度事業の内容

国史跡の大境洞窟住居跡や柳田布尾山古墳、国天然記念物であるイタセンパラの保護池を巡り、学芸員の 解説から詳細な解説を聞き、また直に質問して理解を深めることで、社会科や理科の学習意欲の向上と、 郷土愛の醸成を図ることを目的とします。

# 3. 目標値または実施により求める効果

全ての中学生が参加して、ふるさと氷見について理解を深めます。

(単位: 下田)

	市の負担	19
財		
源		

		(年四.7111/
費内	使用料及び賃借料	19
訳		



# ① ふるさと教育の充実

継続 「論田・熊無の藤箕製作技術 | 保存対策事業費

235万円

(前年度)

200万円

担当課 博物館

電話番号

74-8231

### 1. 本市の現状と課題

約600年続くとされる藤箕の製作技術は、平成25年3月に国重要指定無形民俗文化財に指定されましたが、 需要減少と製作者の高齢化により、その技術伝承が危ぶまれています。

後継者を育成し、技術をつないでいくことが今後の課題となっています。

# 2. 平成30年度事業の内容

原則週2回の教室や各自の自習を継続することにより、技術の習得を図ります。 技術保持者から継続的に指導を受けるとともに、適宜アドバイスをもらいます。

# 3. 目標値または実施により求める効果

後継者育成を確実に行い、多くの後継者が一人立ちできるようにしていきます。

(単位:万円)

	国の負担	100
財  源	県の負担	50
1/24N	市の負担	85

		(単位:刀口)
経	報償費	132
費肉	報償費 修繕料	45
訳	その他	58



新規 ふるさと教育推進事業費

(前年度)

### 担当課 教育総務課

電話番号

74-8211

319万円

# 1. 本市の現状と課題

第2期教育振興基本計画の基本理念「ふるさと氷見を愛し 次代を担う人づくり」を図るためには、ふるさと 教育を推進する必要があります。

#### 2. 平成30年度事業の内容

国史跡大境洞窟住居跡や朝日貝塚発見100年、柳田布尾山古墳発見20年、大伴家持生誕1300年記念の 節目の年にあたることから、記念事業を開催します。

# 3. 目標値または実施により求める効果

ふるさと氷見について理解し、郷土に愛着と誇りを持つ市民を増加させます。

	基金繰入金	300
財  源	基金繰入金 市の負担	19
1004		

		(単位:万円)
経	委託料	200
費内	委託料 印刷製本費	64
]訳	その他	55



# ② 生涯学習の充実

継続 図書館資料購入費

1,170万円

(前年度)

1,170万円

担当課 図書館

電話番号

74-8226

### 1. 本市の現状と課題

児童・生徒だけでなく、市全体の人口が減少していく中で、貸出冊数の減少もみられます。市民に身近な 図書館として、もっと利用してもらえるよう、また、市民の文化資質の向上や学習などに必要な資料や情報 を提供するため、図書館資料の充実を図る必要があります。

# 2. 平成30年度事業の内容

図書の購入冊数は、一般書3,635冊、児童書1,700冊、移動図書館用1,000冊、巡回図書用500冊、地域(まち)づくりコーナー用100冊を予定しています。来館者を待つだけでなく、移動図書館、小学校・保育園への巡回図書、子育でサークルの集まりなどに出向き、図書提供を行います。

# 3. 目標値または実施により求める効果

貸出冊数目標 160.289冊

貸出者数目標 延べ31,648人

(単位:万円)



		(単位:万円
経費内訳	備品購入費	1,170



拡充 図書館情報システム整備事業費

(前年度)

282万円

648万円

担当課 図書館

電話番号 74-8226

#### 1. 本市の現状と課題

現行の情報システムが導入後5年を経過し、機器の老朽化やセキュリティ上の問題もあり、早急に更新が必要となっています。また市内に図書館が1館しかなく、市全域を対象にした積極的なサービスの展開が課題となっています。

#### 2. 平成30年度事業の内容

現行システムを円滑に運用するとともに、11月のシステム更新に向け準備を進めます。また、システムの 更新に併せて、電子図書館機能を導入するとともに、個人の貸出履歴がわかる読書通帳機を設置するなど、 図書館サービスの充実を図ります。

# 3. 目標値または実施により求める効果

情報システムの障害や、セキュリティ上の問題を解消します。新たな利用者の獲得に努めます。

貸出者数目標 延べ31,648人

貸出冊数目標 160, 289冊

財源基金繰入金600市の負担48

経	使用料及び賃借料	394
費力	使用料及び賃借料 備品購入費	216
訳	その他	38



# ② 生涯学習の充実

継続 特別展開催事業費

321万円

(前年度)

253万円

担当課 博物館

電話番号

74-8231

### 1. 本市の現状と課題

博物館では、新たに収蔵した資料や、最新の研究成果を紹介するために、年2回自主企画による特別展を 開催しています。

# 2. 平成30年度事業の内容

大境洞窟と朝日貝塚の発見から100年を記念した特別展と、万葉集と氷見をテーマとした特別展を開催します。

# 3. 目標値または実施により求める効果

多くの市民が特別展を観覧することで、氷見市のあゆみに関心をもち、地域の文化財に愛着を抱くことを 目指します。

(単位:万円)

市の負担	321
	市の負担

経	印刷製本費	153
費内	印刷製本費 通信運搬費	95
訳	その他	73



朝日貝塚出土パスケット形土器 (縄文時代・東京大学総合研究博物館蔵)

拡充 地域コミュニティ活性化事業費

(前年度)

202万円

担当課 中央公民館

電話番号

74-8240

#### 1. 本市の現状と課題

地域コミュニティ活性化事業は、平成23年度から地域特色事業費分と公民館通常活動事業費分とに区分され 実施してきていますが、各公民館のおかれている状況(施設、人の配置など)もあり、地域特色事業費について は、例年13~15館が30数事業を実施しています。対象となる21館全館の取り組みが求められます。

#### 2. 平成30年度事業の内容

各公民館を拠点に、自治会や各種団体と連携し実施する地域の特色を活かした事業や、年間を通しての定期的な活動に対し助成するものです。ふるさと教育の一層の推進という観点から、今年度は、30万円増額しました。なお、事業は、氷見市公民館連絡協議会への委託事業として実施しています。

# 3. 目標値または実施により求める効果

平成33年度までに対象となる21公民館全館で50事業の実施を目指します。

	市の負担	202
財		
源		

		(単位:万円)
経費	委託料	202
内訳		



# ③ 芸術・文化の振興

継続 芸術文化振興事業費

634万円

(前年度)

584万円

#### 担当課 教育総務課

電話番号

74-8211

### 1. 本市の現状と課題

市内で活動する芸術文化活動団体の発表する機会を設け、幅広い市民が芸術文化を鑑賞することで、本市の 芸術文化の振興を図る必要があります。また、芸術文化にかかる活動相談に応じ、活動の活性化と市民の参加 を促進することが求められています。

# 2. 平成30年度事業の内容

市民が芸術文化に触れる機会と活動の成果を発表する機会として、文化祭、総合芸能大会、氷見市美術展覧会 など各種文化行事を開催します。また、芸術文化団体の相談窓口を設置する市芸術文化団体協議会の活動を 支援すると共に、市民会館代替施設利用差額助成制度に基づき代替施設を利用する行事を支援します。

# 3. 目標値または実施により求める効果

芸術文化に触れる機会を幅広く提供するとともに、芸術文化に主体的に参加し、その担い手となる市民を育み

ます。市内で活動する芸術文化活動団体の発表する機会を設け、幅広い市民か

30

604

芸術文化を鑑賞することで、芸術文化の振興を図ります。

(単位:万円) 396 委託料 補助及び交付金 211 内 27 その他



財

源

継続 市民文化プログラム推進事業費

362万円

(前年度)

757万円

#### 担当課 教育総務課

電話番号

74-8211

# 1. 本市の現状と課題

基金繰入金

市の負担

芸術文化の持つ波及効果を地域活性化につなげるとともに、すべての市民に文化権を保障する重要性に鑑み、 これまで環境などの制約により芸術文化に触れる機会に乏しかった市民にも身近にその機会を充実することに 取り組む必要があります。

#### 2. 平成30年度事業の内容

芸術家が学校の特別教室や余裕教室に滞在し、地域の文化資源を活用したアートプロジェクトを展開しながら、 子どもたちと交流する文化プログラムを実施します。また、障害児福祉施設に芸術家を派遣し、子どもたちが 演劇の手法を用いた表現活動を体験するワークショップを実施します。

# 3. 目標値または実施により求める効果

子どもたちの創造性やコミュニケーション能力を高めます。

362

		(単位:万円)
経費内訳	委託料	362



# ③ 芸術・文化の振興

| 拡充 公民連携による新文化施設計画推進事業費 | 733万円 (前年度) 523万円

担当課 新文化施設建設室

電話番号 74-8215

### 1. 本市の現状と課題

耐震性能の不足から利用を停止した氷見市民会館に代わる新文化施設の整備が求められています。 平成30年3月に示された氷見まちなかグランドデザインに基づき、旧氷見市民病院跡地において「文化施設を 核とした"まちの顔となる新シンボル"」として「(仮称)ひみ文化交流プラザ」の整備が急がれています。

# 2. 平成30年度事業の内容

「(仮称)ひみ文化交流プラザ」の公共施設部分の要求水準書を作成するとともに、サウンディング型市場調査により民間事業者の意向や参入可能性を調査しながら、公民連携による全体事業計画をとりまとめます。

# 3. 目標値または実施により求める効果

芸術文化の発信や多様な市民の交流と創造の拠点として賑わいの場の創出を目指します。

氷見ならではの魅力的な暮らしを提案する民間事業の創造を目指します。 広域的な交流活動や若者の企業など新たな活力の創出を目指します。

	基金繰入金	700
財源	市の負担	33
1/4/		

		(十四:2311/
経	委託料	714
費肉	委託料 旅費	14
訳	その他	5



スポーツによるまちづくり推進事業費 継続

439万円

(前年度)

830万円

担当課 スポーツ振興課

電話番号

74-8446

### 1. 本市の現状と課題

本市では、高齢化率が全国より進み、子どもの肥満傾向は県内他市町村に比べて顕著となっています。 また、週1回以上のスポーツ実施率は全国平均より低いことから、健康寿命の延伸を図るためにも、スポーツに よるまちづくりを推進する必要があります。

# 2. 平成30年度事業の内容

今年度はハンドボールを核としたまちおこしの新たな取り組みとして、ハンドボールを基に開発した「ハンぎょ ボール」の普及を進め、スポーツ人口の増加を目指します。また、市民参加によるハンドボールロゴ・LINE スタンプ作成や、春中ハンドによる「ハンドボールのまち氷見」のさらなるブランディングを図ります。

# 3. 目標値または実施により求める効果

ハンドボールの「生涯スポーツ化」と「商業価値の創出」によって、市民全体の、さらには日本全体を巻き 込んだ、ハンドボールによる元気づくりムーブメントを高めます。

市の負担 439 財 源

(単位:万円) 委託料 215 旅費 112 内 その他 112 氷見産ゆるスポーツ「ハンぎょボール」

新規

スポーツ合宿誘致推進事業費

366万円

74-8446

(前年度)

電話番号

担当課 スポーツ振興課

1. 本市の現状と課題

本市では、発信力のあるスポーツ合宿の誘致を推進してきました。

今後、市民の元気創造に多大な効果が期待される大規模合宿の受入れについて積極的にアプローチし、新規 合宿の開拓と継続的な合宿交流が実現できるよう環境整備を進めていく必要があります。

#### 2. 平成30年度事業の内容

早稲田大学応援部夏合宿及び立教大学水泳部秋季合宿を誘致し、地域住民との交流イベントを実施します。 ふれあいスポーツセンターでは早稲田大学応援部による応援パフォーマンスの発表会や、氷見市民プールで は立教大学水泳部による水を媒体としたふれあいイベントを実施し、市民との交流を図ります。

# 3. 目標値または実施により求める効果

参加人数が100人以上、かつ地域住民との交流イベントを開催するスポーツ合宿などの実施件数を年間

1団体、また、氷見市への再訪を約束していただくことを目標とし、市民との 交流がもたらす元気創造力を継続的かつ持続可能なものとします。

	市の負担	366
財源		
源		

経	使用料及び賃借料	187
費出	使用料及び賃借料 委託料	137
訳	その他	42



平成27年度合宿の様子

継続 総合型地域スポーツクラブ育成事業費

112万円 (前年度)

125万円

担当課 スポーツ振興課

電話番号

74-8446

#### 1. 本市の現状と課題

今後、さらなる人口減少社会に対応するため、地域スポーツを担っていく組織の育成が必要不可欠だと考え られています。しかし、組織そのものが脆弱であるため、多くの委託事業は実施できない状況であります。 委託事業の内容整理やカリキュラムなどの調整が求められます。

# 2. 平成30年度事業の内容

スポーツ実施率の低い20歳から40歳の女性のスポーツ参加を促すため、スポーツ以外の切り口で「誘う事業」 を行います。また、幼児期における運動指導のノウハウを持つ指導者が出向き、運動あそびなどを行う事業を 実施します。

# 3. 目標値または実施により求める効果

市民の「自主的なスポーツコミュニティ」と「資金・人材循環の仕組み」を構築し、介護予防期を中心に 健康長寿の実現を目指します。

県の負担 財 市の負担 105

		(単位:万円/
経	委託料	112
費		
LA		
訳		



春の全国中学生ハンドボール選手権大会開催事業費補助金

1,450万円

(前年度)

1,450万円

#### 担当課 スポーツ振興課

74-8446 電話番号

# 1. 本市の現状と課題

本大会は、第15回大会まで本市で継続開催することになっています。全国の中学生ハンドボーラーが集う この大会を通じて、「ハンドボールのまち 氷見」としての価値を更に高めていけるように、大会内容の充実を 図ります。

#### 2. 平成30年度事業の内容

「第14回春の全国中学生ハンドボール選手権大会」の開催に対し、補助金を交付します。また、2020東京 オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に併せ、ハンドボール競技自体の魅力や価値の向上を図るため、 映像やスポーツエンターテイメントの活用について、関係機関と連携して進めていきます。

# |3. 目標値または実施により求める効果

全国の中学生ハンドボーラーが憧れるまちを形成し、スポーツの振興とともに地域の活性化に寄与します。

今後も自立した運営を目指しながら大会内容を充実させ、観客数が増えて いくように努めます。

(単位·万円)

繰入金	1,000
負担	450
	繰入金 負担

		(十四.7311/
経費	補助及び交付金	1,450
内訳		



新規 Vリーグ男子氷見大会開催事業費補助金

150万円

(前年度)

担当課 スポーツ振興課

電話番号

74-8446

### 1. 本市の現状と課題

Vリーグは、平成30年度から新リーグで運営することが決まりました。より自治体と連携し、地域に根付いた 活動が促進されます。我が国のトップ選手が、豪快なスパイクや床に落ちるぎりぎりまで追いかけるレシーブなど スーパープレイを見せるだけでなく、市民との交流を深めるイベントなどを行うことが求められています。

# 2. 平成30年度事業の内容

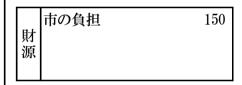
「Vリーグ男子氷見大会」の開催に対し、補助金を交付します。また、氷見市をホームタウンとしている豊田合成 トレフェルサチームを活用して、「Vリーグ男子氷見大会」を広く周知し多くの市民が来場するようにします。さらに、 試合前後にバレーボール教室やサイン会、写真撮影会を行い、来場者にバレーボールの魅力を伝えます。

# 3. 目標値または実施により求める効果

氷見市ふれあいスポーツセンターを満員にし、日本のトップチームによるダイナミックなプレイや繊細なボール

コントロールを披露することで、「観るスポーツ」や「支えるスポーツ」などの 多様な価値観を高めていくよう努力します。

(単位:万円)



経補助及び交付金 150 費 内 訳



氷見キトキトウオーキング開催事業費補助金

(前年度)

60万円 71万円

担当課 スポーツ振興課 電話番号

74-8446

### 1. 本市の現状と課題

氷見キトキトウオーキングは、昨年度までで14回の開催を重ね、健康の保持・増進及び全国のウオーカーの 交流イベントとして定着しています。

本市における重要なスポーツツーリズムコンテンツとして、更なる内容の充実が必要です。

#### 2. 平成30年度事業の内容

心と体の健康づくりとともに、全国のウオーカーとの交流を図る「第15回氷見キトキトウオーキング」の開催 事業費として、補助金を交付します。

# 3. 目標値または実施により求める効果

今後も大会参加者の増加を目指します。また、ウオーキングを通して、市内の自然や歴史にふれてもらうと ともに地域の活性化につなげていきます。

	市の負担	60
財	市の負担	
源		

		(単位:万円)
経費内訳	補助及び交付金	60



拡充 氷見シーサイドマラソン大会実施事業費

130万円

(前年度)

73万円

担当課 スポーツ振興課

電話番号

74-8446

### 1. 本市の現状と課題

氷見シーサイドマラソン大会は、多くの市民が運動をするきっかけとなる参加型事業として、定着してきています。 近年のマラソン人気もあり、前回大会では、最近5年間で最高の1,463名のランナーが参加しました。 本市における重要なスポーツツーリズムコンテンツとして、更なる内容の充実が必要です。

# 2. 平成30年度事業の内容

目指します。

今回が40回目の節目となる、「第40回記念氷見シーサイドマラソン大会」を開催します。

今大会では、オリンピアンを含む有名選手を複数招聘するとともに、10kmコースを復活し、イベント企画の充実を 図ります。

# 3. 目標値または実施により求める効果

今後も、大会参加者の増加を目指します。また、有名選手が開会式で走り方クリニックを行ったり参加者と一緒に 走ったりすることで、来場者の興味を高め、今後の運動実施率の向上を

(単位:万円)

市の負担 130 財 源

委託料 130 費 内 訳



新規 ボールゲームフェスタ開催事業費

35万円

(前年度)

電話番号

74-8446

担当課 スポーツ振興課

1. 本市の現状と課題

本市は、平成29年から5年間で約500人の児童生徒数が減少すると予想されています。このため団体競技に 必要な人数が確保できず、活動の継続が困難になります。子どもたちに様々なスポーツ種目の活動を提供 できる環境づくりが必要です。

# 2. 平成30年度事業の内容

日本トップリーグ連携機構による「ボールゲームフェスタ2018in氷見」を誘致し、開催します。

年長~小学校2年生とその保護者を対象にしたボールを使った様々な運動や、小学校3~6年生を対象にした トップアスリートなどによるボールゲームの指導を実施します。

# 3. 目標値または実施により求める効果

ボールで遊ぼうでは、ボール遊びを通して子どもの調整力や親子のコミュニケーション能力の向上を目指します。

キッズチャレンジでは、トップアスリートによる複数競技種目をローテーションし ながら体験できるようにし、子どもの運動能力の向上を目指します。

	基金繰入金	35
財		
源		

		(単位:万円
経費	委託料	35
内訳		



# 拡充 都市公園活性化事業費

1,043万円

(前年度)

918万円

担当課 都市計画課

電話番号

74-8076

# 1. 本市の現状と課題

氷見運動公園は供用開始から45年が経過し、経年劣化による老朽化や施設の陳腐化が目立ち始めています。 そのため施設の機能充実が求められており、従来の特徴を活かし、より幅広い世代の方々に親しまれるように 魅力的な公園へと再整備を行う必要があります。

# 2. 平成30年度事業の内容

スポーツの競技力向上やスポーツを通じた地域の活性化を図るため、スポーツ推進計画に基づき、氷見運動公園内にある野球場の長寿命化を図るため、調査・設計を行います。

# 3. 目標値または実施により求める効果

市民とともに氷見市の自然・文化・交流や異分野との融合の場づくりによって、時代に合ったコミュニティや 絆を再構築し、健康寿命の延伸を図り、元気で豊かな未来を創ります。

	国の負担	500
財源	市債	540
104	市の負担	3

経	委託料	1,000
費 出	委託料 人件費	42
訳	燃料費	1